

23 陳情 第7号	待機児解消を早急に求める陳情
付託委員会	福祉健康委員会
受理及び付託 年 月 日	平成23年2月28日受理、平成23年3月10日付託
陳情者	新宿区下落合 _____ _____ ほか978名
(要 旨) 1 すべての待機児を解消するため、区立・私立の認可保育園を増やしてください。 2 区立戸山第3保育園は待機児解消のため残してください。 (理 由) 「子どもが保育園に入れないために、仕事を辞めなければならない」「認可外は保育料が高くて入れない」「働きたいけど、休職中だと点数が低く展望がない」「保育園に入れる保障がないから子どもが産めない」などの声が新宿のまちで聞かれます。区内認可保育園の待機児は増え続け、2011年1月1日現在328人になりました。 認証保育所は直接入所を申し込みますが、新宿区内ではすでに定数をオーバーしている園が多く、登録待ちも少なくありません。しかも入園料が2～3万円程、月の保育料が5～9万円、狭い園舎で年齢別の保育も不十分で不安です。特に所得の低い世帯にとっては保育料の負担が大きく、「認可保育園でなければ無理」な状況です。また、待機児のほとんどが0歳～2歳児で、認可保育園では1年中ほとんど空きがありません。受け入れ枠定員を大幅に増やすため、認可保育園の増設がさらに必要ではないでしょうか。 さらに待機児が多い牛込地域では、1月1日現在118人おり、昨年、一昨年の同時期に比べても深刻さが一層増しています。医療センター内に新しい認可保育園ができるからとの理由で、環境が良く、100人定員の区立戸山第3保育園などを廃止するなら、待機児解消の展望が見えません。新宿区のほぼ中心に位置する区立戸山第3保育園が存続すれば待機児解消に大いに役に立つのではないのでしょうか。 上記の要望を新宿区議会として採択くださるよう、よろしくお願いいたします。	